

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【公表番号】特表2017-530108(P2017-530108A)

【公表日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-512822(P2017-512822)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/575 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/02 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/575 Z N A

A 6 1 K 38/16

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 47/60

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 25/02 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

EASELSTAALGRLSAELHELATLPRTEGPEP(配列番号1)に対し少なくとも66%同一であり、Nを全く含まない配列を含み、アミリン受容体のアゴニスト及び/又はカルシトニン受容体のアゴニストである、ミミリンペプチド。

【請求項2】

配列番号1と比較して、最大11個の改変を含み、以下のアミノ酸を含む、請求項1に記載のミミリンペプチド:

- a. -1位はE又はアミノ酸なし、
- b. 1位はE、A、又はアミノ酸なし、
- c. 2位はA、L、又はP、
- d. 3位はS又はP、
- e. 4位はE、P、K、Q、又はG、
- f. 5位はL、V、I、又はH、

- g. 6位はS、T、又はH、
- h. 7位はT、
- i. 8位はL又はA、
- j. 9位はA、V、I、S、又はT、
- k. 10位はL、A、I、H、又はV、
- l. 11位はG、
- m. 12位はR、H、又はK、
- n. 13位はL、
- o. 14位はS、T、又はE、
- p. 15位はA、Q、E、e、又はT、
- q. 16位はE、R、K、又はQ、
- r. 17位はL又はI、
- s. 18位はH又はA、
- t. 19位はE、R、又はK、
- u. 20位はL、I、又はV、
- v. 21位はA、Q、S、E、又はT、
- w. 22位はT、
- x. 23位はL又はY、
- y. 24位はP、
- z. 25位はR、P、H、又はK、
- aa. 26位はT、
- bb. 27位はE、Q、G、又はK、
- cc. 28位はT又はP、
- dd. 29位はG、
- ee. 30位はP、S、又はT、
- ff. 31位はE、Q、G、A、P、又はK、
- gg. 32位はT、S、H、P、又はA、
- hh. 33位はP、Y、H、F、L、S、G、又はA、
- ii. 34位はG若しくはK、又はアミノ酸なし。

【請求項3】

配列番号1と比較して、最大11個の改変を含み、以下のアミノ酸を含む、請求項1又は2に記載のミミリンペプチド：

- a. -1位はE又はアミノ酸なし、
- b. 1位はE、
- c. 2位はA、L、又はP、
- d. 3位はS又はP、
- e. 4位はE、P、K、Q、又はG、
- f. 5位はL、V、I、又はH、
- g. 6位はS、
- h. 7位はT、
- i. 8位はA、
- j. 9位はA、V、又はI、
- k. 10位はL又はI、
- l. 11位はG、
- m. 12位はR、H、又はK、
- n. 13位はL、
- o. 14位はS、T、又はE、
- p. 15位はA、
- q. 16位はE、
- r. 17位はL又はI、

- 【請求項4】

【請求項 5】

【請求項 6】

【請求項 7】

【請求項 8】

【請求項 9】

【請求項 10】

【請求項 1 1】

【請求項 1 2】

【請求項 13】

○

【請求項 14】

【請求項 15】

医薬としての使用のための、請求項1～9のいずれか一項に記載のミミリンペプチド又は請求項10～14のいずれか一項に記載のミミリン誘導体。

【請求項 16】

体重過多、肥満、及び/又は糖尿病I型若しくはII型、及び/又は骨粗しょう症、及び/又は神経障害性疼痛を患う対象の治療のための、請求項1～9のいずれか一項に記載のミミリンペプチド又は請求項10～14のいずれか一項に記載のミミリン誘導体。

【請求項 17】

食物摂取量の低減における使用のための、請求項1～9のいずれか一項に記載のミミリンペプチド又は請求項10～14のいずれか一項に記載のミミリン誘導体。